

スズキ、インドネシアで新型「エルティガ」を発表



スズキ株式会社のインドネシア子会社スズキ・インドモービル・モーター社は、3列シートの7人乗り多目的乗用車「**エルティガ**」の全面改良車を発表した。

「**エルティガ**」は2012年よりインドネシアとインドで生産・販売を開始し、コンパクトでありながら、広い室内空間と居住性、取り回しの良さで好評を得ている。2018年2月末までに、両国内での販売および輸出を通じて、世界70以上の国・地域で累計68万台を販売してきた。

新型「エルティガ」は、高級感のあるフロントグリルやダイナミックなショルダーラインで力強さとエレガントさを表現したスタイリングと、繊細に作り込まれたダッシュボードや木目調の加飾をあしらった上質なインテリアを採用した。また、新プラットフォーム「HEARTECT(ハーテクト)」を採用し、全長を130mm延長したことで、広い室内空間と荷室スペースを実現した。エンジンは、優れた燃費性能と動力性能を両立した、新開発の1.5Lガソリンエンジンを搭載した。

インドネシアの自動車市場の約3割は多目的車カテゴリーが占めており、スズキは同カテゴリーの「**エルティガ**」を全面改良することで、さらなる拡販を図る。インドネシアに続き、インドでも**新型「エルティガ」**を生産し、両国より順次輸出も開始する予定である。